

平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス

コード番号 2362 URL <http://www.vumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐藤 大央

TEL 03-5981-0672

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	9,162	12.6	986	10.0	1,224	26.9	766	33.3
24年9月期第3四半期	8,139	90.5	897	90.5	964	102.9	574	193.1

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 1,006百万円 (78.3%) 24年9月期第3四半期 564百万円 (147.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	12.67	12.41
24年9月期第3四半期	9.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	9,083	4,831	50.2
24年9月期	7,669	2,335	27.4

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 4,555百万円 24年9月期 2,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	1.50	—	2.50	4.00
25年9月期	—	3.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	22.9	2,100	75.8	2,200	69.8	1,300	76.0	22.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期3Q	74,573,440 株	24年9月期	74,573,440 株
25年9月期3Q	11,532,486 株	24年9月期	16,032,485 株
25年9月期3Q	60,501,485 株	24年9月期3Q	58,557,442 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続き対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日～平成25年6月30日）における日本経済は、平成24年12月の政権交代以降、新政権の掲げる経済政策から、為替も円安傾向となり、株式市場も活況を呈すなど、実体経済の回復へ向け期待感が高まっている状況です。しかしながら、世界経済では、欧州の債務危機および緊縮財政、中国の経済成長に陰りが見える等、先行き不透明感が漂う状況が続いております。

当社グループの中核事業である建築技術者派遣事業が属する建設業界におきましては、東北地方での復興工事は依然本格化しないものの、首都圏での改修・補修工事、耐震補強工事の増加、住宅ローン減税の延長、増税前の駆け込み需要等による新設マンション着工戸数の増加等を受け、建設投資額もリーマンショック以前の水準に近づきつつあります。一方、このような市場環境に対し、職人およびゼネコン各社が抱える施工管理者の「高齢化」「若手不足」が深刻化しており、全国的に建設就業者が不足する事態が生じております。

このような事業環境の下、当社グループでは、建築技術者派遣事業の拡大を優先課題とし、全国的なインフラ整備工事の増加、東北復興工事の本格化に備え、技術者の採用活動に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9,162百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益986百万円（前年同四半期比10.0%増）、経常利益1,224百万円（前年同四半期比26.9%増）、四半期純利益766百万円（前年同四半期比33.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

①建築技術者派遣事業

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」の影響により、派遣需要は旺盛に推移いたしました。また、今後想定される全国的なインフラ整備工事、復興需要の本格化に備え、期初計画800人採用のところ、1,200人採用に修正し、採用活動に注力してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において936人の入社となり、平成25年6月末現在の在籍技術者数は1,551人となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,900百万円（前年同四半期比25.0%増）、セグメント利益は938百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

②エンジニア派遣事業

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である製造業各社の人材派遣活用は、依然として限定的であるものの、一部の業種や地域では増加に転じる動きも見られ、リーマンショック以降続いていた縮小トレンドに底打ちの兆しが見受けられます。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界において、ここ数年抑制されていた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせており、派遣需要は高まりつつあります。

このような事業環境の下、需要の高まりをみせている分野に精通した技術者の採用および育成、コスト管理の徹底、営業の効率化による稼働率の改善に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,920百万円（前年同四半期比6.4%減）、セグメント利益は220百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

③子育て支援事業

子育て支援事業におきましては、待機児童が多く保育サービスの需要が高い東京都および神奈川県において、認証保育所を3箇所運営しております。また、東京都江東区に新たに認証保育所を建設中であり、平成25年8月1日開設予定となっております。併せて保育士の派遣を行っており、施設の提供ならびに人材の供給を実施してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は189百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント利益は38百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

④医療介護支援事業

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療および介護サービスへのニーズが日ごとに増加していることを受け、デイサービス施設を東京都にて3箇所運営してまいりました。また新たに、東京都江戸川区にデイサービス施設を建設予定となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は151百万円(前年同四半期比65.3%増)、セグメント利益は0.4百万円(前年同四半期は、13百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,413百万円増加し、9,083百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加594百万円、投資有価証券の増加858百万円等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,082百万円減少し、4,251百万円となりました。これは主に借入金の減少937百万円、未払法人税等の減少279百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,496百万円増加し、4,831百万円となりました。これは主に四半期純利益766百万円、剰余金の配当327百万円、自己株式の処分499百万円、自己株式処分差益1,337百万円、その他有価証券評価差額金の増加181百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月30日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,557,679	3,152,119
受取手形及び売掛金	1,626,398	1,686,631
有価証券	7,046	14,899
たな卸資産	1,236	1,402
その他	575,958	493,368
貸倒引当金	△84,719	△83,649
流動資産合計	4,683,600	5,264,770
固定資産		
有形固定資産	1,412,178	1,440,953
無形固定資産		
のれん	628,411	565,850
その他	37,834	32,059
無形固定資産合計	666,246	597,910
投資その他の資産		
投資有価証券	688,605	1,546,838
その他	305,455	285,177
貸倒引当金	△86,255	△51,972
投資その他の資産合計	907,805	1,780,043
固定資産合計	2,986,230	3,818,907
資産合計	7,669,831	9,083,678
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,133	10,364
短期借入金	975,331	25,000
1年内返済予定の長期借入金	850,844	739,960
未払法人税等	442,473	163,086
賞与引当金	176,867	163,270
その他	942,401	1,004,217
流動負債合計	3,402,051	2,105,899
固定負債		
長期借入金	1,509,223	1,633,370
退職給付引当金	254,959	263,265
資産除去債務	3,204	2,377
その他	164,707	246,865
固定負債合計	1,932,094	2,145,878
負債合計	5,334,146	4,251,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	2,204,895
利益剰余金	2,262,103	2,700,487
自己株式	△1,789,972	△1,290,472
株主資本合計	2,144,823	4,420,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,302	135,637
その他の包括利益累計額合計	△46,302	135,637
新株予約権	10,511	8,661
少数株主持分	226,652	267,545
純資産合計	2,335,685	4,831,900
負債純資産合計	7,669,831	9,083,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,139,957	9,162,058
売上原価	5,782,156	6,563,645
売上総利益	2,357,800	2,598,412
販売費及び一般管理費	1,460,578	1,611,464
営業利益	897,222	986,947
営業外収益		
受取利息	3,332	2,693
受取配当金	7,593	12,538
投資有価証券売却益	12,359	76,676
受取家賃	57,267	53,948
補助金収入	96,136	110,538
その他	20,045	64,207
営業外収益合計	196,736	320,602
営業外費用		
支払利息	53,135	41,976
賃貸収入原価	22,721	20,744
その他	53,252	20,151
営業外費用合計	129,109	82,872
経常利益	964,849	1,224,677
特別損失		
貸倒引当金繰入額	16,450	—
和解金	—	29,338
その他	4,189	640
特別損失合計	20,639	29,978
税金等調整前四半期純利益	944,209	1,194,698
法人税、住民税及び事業税	345,780	403,635
法人税等調整額	△11,070	△14,669
法人税等合計	334,710	388,965
少数株主損益調整前四半期純利益	609,499	805,733
少数株主利益	34,711	39,374
四半期純利益	574,788	766,358

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	609,499	805,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,956	201,030
その他の包括利益合計	△44,956	201,030
四半期包括利益	564,543	1,006,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,529	948,299
少数株主に係る四半期包括利益	28,013	58,464

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	4,719,428	3,119,938	209,207	91,383	8,139,957	8,139,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,719,428	3,119,938	209,207	91,383	8,139,957	8,139,957
セグメント利益 又は損失(△)	862,761	198,206	32,952	△13,326	1,080,594	1,080,594

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,080,594
のれんの償却額	△61,996
全社損益(注)	△53,747
四半期連結損益計算書の経常利益	964,849

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる収益及び費用です。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

連結子会社の株式会社我喜大笑の株式を追加取得したことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、のれんの額が3,919千円増加しております。なお、当該のれんの額は、報告セグメントに配分しておりません。

2 当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	5,900,803	2,920,581	189,635	151,038	9,162,058	9,162,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,900,803	2,920,581	189,635	151,038	9,162,058	9,162,058
セグメント利益	938,601	220,065	38,047	417	1,197,133	1,197,133

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,197,133
のれんの償却額	△62,561
全社損益(注)	90,106
四半期連結損益計算書の経常利益	1,224,677

(注) 全社損益は、主として報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、当社の新株予約権が行使されたこと等により、資本剰余金が1,337,350千円増加、自己株式が499,499千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が2,204,895千円、自己株式が△1,290,472千円となっております。